

共に育つくらしの中で  
～子供のステキを見つめる保育～（2年次）

滋賀大学教育学部附属幼稚園

共に育つくらしの中で  
～子供のステキを見つめる保育～  
(2年次)

DVD収録 目次

○挨拶・研究概要説明

○実践事例報告

3歳児『子供の「みて！」は何をみて！？』

種とりをしていたAちゃんとのかかわりを振り返り、子供たちの発信する「みて！」について、教師がどうよみとり、応えるか...語り合いの中で考え、気づかされる様子を描いています。

4歳児『ひびきあう...「さいこうだぜ～！」』

外遊びが大好きな4人の子供達が集まって海賊ごっこになりました。その中で自己発揮していくAくん。何がAくんの育ちを支えているのだろうか？その背景をさぐりながら、同時に教師も一緒になって遊びが広がっていく4歳ならではの世界を追っていきます。

5歳児『死んでるの？寝てるの？』

動かなくなったカミキリムシ。Aくんは寝てるっていうんだけど...虫かごを前に一人で思いを巡らせるBくん。虫捕りに夢中な子供達が友達と一緒に何を見つめ、どんな関係を深めていくのか、教師自身の思いを重ねながら迫ります。

○助言 「各事例へのコメント」

滋賀大学教育学部 准教授 山本 一成

○講話 「ステキの窓からステキをとらえる」

ことのステキ

滋賀大学教育学部 教授 菅 眞佐子

# 研究の概要

## 主題設定について

- 子供達は様々な人やモノ、コトとの出会いや関りを伴う暮らしを通して必要な経験を積み重ねていく。
- 子供達の育ちはもちろん、教師自身の意識や行動の変容を実感し共に育つということが私達の目指す保育である。
- 私達一人一人が思う「ステキ」を具体的に語りながら、様々な「ステキ」をみんなで見つけ出し、共有できれば、ステキという窓から子供の新しい姿が見えるのではないか。
- 子供の姿を丁寧に読み取り、記録に残し、さらにカンファレンスにより捉え直す、こうして自分自身の見方を見つめる保育をすすめていこう。

## 研究の目的

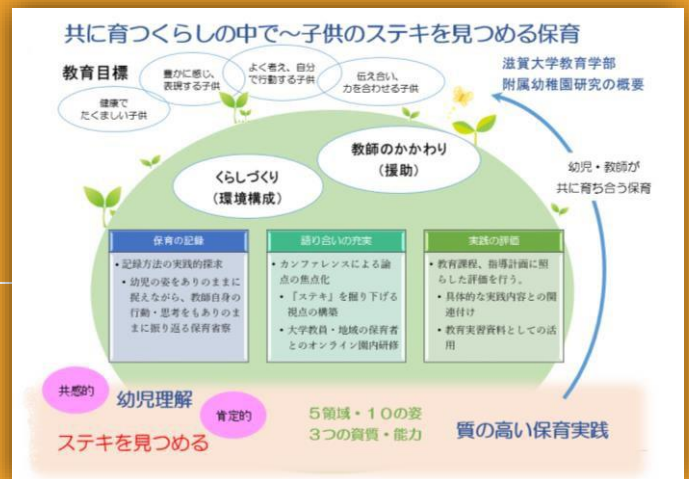
- ステキを見つめることから幼児理解を深める省察の過程を明らかにする。
- 教育課程に基づいた実践の日常的な評価とカリキュラムの改善を行う。

## 研究の方法

1. 保育記録の積み重ね
2. ステキを窓口にした語り合い
3. 実践の評価

## 研究の成果

- ステキから深まる保育省察
- 保育実践と往還するカリキュラムマネジメント



ステキを語ろう！

## • ステキから深まる保育省察（教師の気づき）

### 3 歳児

- ◆ 子供の「みて」に気の利いたことや、思いにピッタリ合うことを言おうという意識のあまり、子供の反応を受けて、不安になるなど考えすぎていた。
- ◆ A児の何ともつかめない一面⇒気になっている・・・という見方で、かかわっていたのかもしれないと気付かされた。
- ◆ A児の素朴な「みて」を同じ目線で味わえたらよかった。
- ◆ 「みて」というような、子供の発信を、教師自身の思いも素直に出しながら受け止め、かかわりの中で様々なことが育まれることも期待し、一緒に楽しんでいきたい。

### 4 歳児

- ◆ 語り合いの場は、まわりの先生方から多様な視点や読み取り、幼児理解のヒントをたくさんもらえる場だった。
- ◆ 「Aくんの楽しさのきっかけはここにある！」と感じて子供達と共に走り回るのは心地よく、海賊船のイメージで子供達と気持ちを合わせると、見えないものも見えてくるようだった。その私の気持ちに応えるかのように、子供達の熱量も上がっていき、なんて面白い空間を共有できたのだろうと嬉しさでいっぱいになった。私が投げかけたダンボールが子供達の遊びにブレーキをかけることなく取り入れられたのも、この共有があったからこそその結果なのかもしれない。
- ◆ フル装備で変身すると園庭へ飛び出し駆け回っている。そんな子供達をみつめる自分自身のまなざしも変わったように思う

### 5 歳児

- ◆ 子供達が死んでいるということをごどのように捉えているのか、答えはでなかったけれど、語り合いの中で子供達のエピソードがたくさんでてきた。エピソードばかり話していたような気もするが語り合ううちにもっとこの子たちの姿を追いかけてきた。それは“明日の保育が楽しみ” になっているということだ。
- ◆ 実際には虫捕りの子供達ばかりを追いかけるわけではない。クラスの子供達、みんなのことをこんな風に追いかけて、十分な時間をかけて語りあうことは現実にはできないのだ。けれど、私がいなくなっても、クラスの子供達一人ひとりにドラマがあり、自分の時間の中でしっかり生きているのだとあらためて思った。
- ◆ だから、私はその時間の一部分に関わらせてもらうことで、子供達が見せてくれた姿にも、私には見えなかった姿にも、もう一歩踏み込み内面に思いを馳せる。私にとってステキを見つめるとはそういうことなのだという気がしている。
- ◆ “死んじゃう前に” “弱る前に” だけでなく、子供達の心に響く声かけのバリエーションと、かけるタイミングに、もう少し心を砕くことが今後の目標。

## • 保育実践と往還するカリキュラムマネジメント

### ステキを見つめる教育課程・年間指導計画 web閲覧（例）

- 検討している事例は指導計画のどのあたりと関連するのか、示されている内容や指導上の配慮などを照らし合わせ、必要に応じて指導計画の見直し、修正も同時に行う。
- 該当する事例をweb閲覧できるようにし、研修や教育実習への活用を図ることで実践と評価の蓄積を往還させる



これからもステキを見つめ、仲間との語り合いを大切に、子供理解を深めていきたいと思ひます。

令和3年度の公開研究会がDVDになりました。

ご興味のある方は滋賀大学教育学部附属幼稚園研究部までご一報ください。

TEL 077-527-5257  
E-mail [shiga-fuyou@edu.shiga-u.ac.jp](mailto:shiga-fuyou@edu.shiga-u.ac.jp)